プリザンター 利用者向けガイド

アクセス制御で できること

「見える・使える」が人によって違うのはなぜ？

出典：プリザンターユーザマニュアル（pleasanter.org/ja/manual/）

アクセス制御とは

必要な人に、必要な情報と操作だけを。

プリザンターでは、**テーブル（サイト）・レコード（行）・項目（列）**のそれぞれについて、ユーザやグループ単位で「誰が見られるか」「誰が書き込めるか」を決められます。

そのため、同じテーブルを開いても、人によって表示されるレコードや項目、押せるボタンが違うことがあります。これは不具合ではなく、管理者が設定した権限どおりの動きです。



どこに権限を付けられるか

3つの単位で制御できます

01

サイト

フォルダ・テーブル単位

フォルダやテーブルそのものを、誰が開けるか・何ができるかを決めます。フォルダに設定すると、権限を継承している中のサイトにも適用されます。

例：営業部のテーブルは営業部だけが見られる

02

レコード

テーブルの「行」単位

テーブルの中の一部のレコードにだけ、特定の人へ権限を付けます。サイトの権限がない人にも、リンクからそのレコードだけ見せられます。

例：この案件だけ、担当外の人も更新できる

03

項目

テーブルの「列」単位

特定の項目を、権限のない人には非表示や読取専用にします。テーブル内の既存・新規すべてのレコードに適用されます。

例：単価の項目は管理職だけに表示

誰に権限を付けるか

ユーザ・グループ・組織の単位で付与します



ユーザ

一人のユーザに、個別にアクセス権を付与します。



グループ

グループに所属するユーザに、まとめてアクセス権を付与します。



組織

組織に所属するユーザに、まとめてアクセス権を付与します。

部署を異動したり、グループから外れたりすると、見える範囲が変わることがあります。

どんな権限があるか

アクセス権は9種類

権限	できること
読取り	レコードやWikiを表示する
作成	レコードを新規作成する
更新	レコードやWikiを更新する
削除	レコードやWikiを削除する
メール送信	レコードやWikiからメールを送る

権限	できること
エクスポート	レコードをCSVファイルに出力する
インポート	CSVファイルのデータを取り込む
サイトの管理	サイトの作成・設定変更・削除
権限の管理	サイトやレコードの権限を設定する

よく使われる組み合わせ

標準パターンは4つ

パターン	読取り	作成	更新	削除	メール送信	エクスポート	インポート	サイトの管理	権限の管理
読取専用	●	—	—	—	—	—	—	—	—
書き込み	●	●	●	●	●	—	—	—	—
リーダー	●	●	●	●	●	●	●	●	—
管理者	●	●	●	●	●	●	●	●	●

●＝できる、—＝できない。標準パターン以外の組み合わせは「特殊」と表示されます。

権限が重なったとき

サイトとレコードの権限は、足し算で効きます

サイトのアクセス制御
読取り

＋

レコードのアクセス制御
更新

＝

そのレコードでは
読取り＋更新

両方を設定した場合は、両方の権限が有効になります。テーブル全体では見るだけの人でも、特定のレコードだけは編集できる、ということが起こります。

権限がない項目は、こう見えます

設定の種類	権限がない人の画面
読取り時の制御	一覧画面でも編集画面でも表示されない（新規作成の画面を除く）
更新時の制御	編集画面でその項目が読取専用になる
作成時の制御	新規作成時にその項目が読取専用になる（既定値があれば自動で入る）



「担当者や管理者に自分が設定されているレコードだけ編集できる」という設定もできます。他の人が担当のレコードで項目が編集できないのは、このためかもしれません。

よくある「あれ？」

こんなときは、権限が理由かもしれません

こんなとき	考えられる理由
テーブルやフォルダが見当たらない	そのサイトの「読取り」権限がない　など
一覧に出るレコードが人によって違う	レコードごとに権限が付いている　など
ある項目が画面にない	項目の「読取り時」の制御で非表示　など
ある項目だけ入力・編集できない	項目の「更新時」「作成時」の制御で読取専用　など
レコードを新しく作れない	サイトの「作成」権限がない　など
CSVの出力・取り込みができない	「エクスポート」「インポート」権限がない　など

自分で設定する

レコードに権限を付ける手順

必要な権限

そのレコードに対する次の3つ

読取り
更新
権限の管理

1. 対象のテーブルで、レコードを開く
2. 「レコードのアクセス制御」タブを開く
3. 組織・グループ・ユーザを選び「権限追加」
4. 「詳細設定」で必要な権限にチェックし「変更」
5. 不要な設定は選んで「権限削除」
6. 「更新」をクリックして完了

レコードの権限で気をつけたい3つのこと

1 1件ずつの設定になる

レコードの権限はレコードごとに設定します。条件でまとめて絞り込みたい場合は、管理者に相談しましょう。

2 効き方が限られる権限がある

エクスポート・インポートは、チェックしても付与されません。作成はコピーだけ、サイトの管理は変更履歴の削除だけに効きます。

3 タブで設定できない場合も

管理者がテーブル単位で「レコード更新時」の設定をしていると、タブでは権限を追加・削除できません。

見えない・使えないときは、 まず管理者に相談を。

権限は「サイト・レコード・項目」の3つの単位で、ユーザ・グループ・組織に付けられています。
どこで制限されているかが分かれば、相談もスムーズです。

pleasanter.org/ja/manual/users-guide/access-control/